



社会福祉法人青葉会

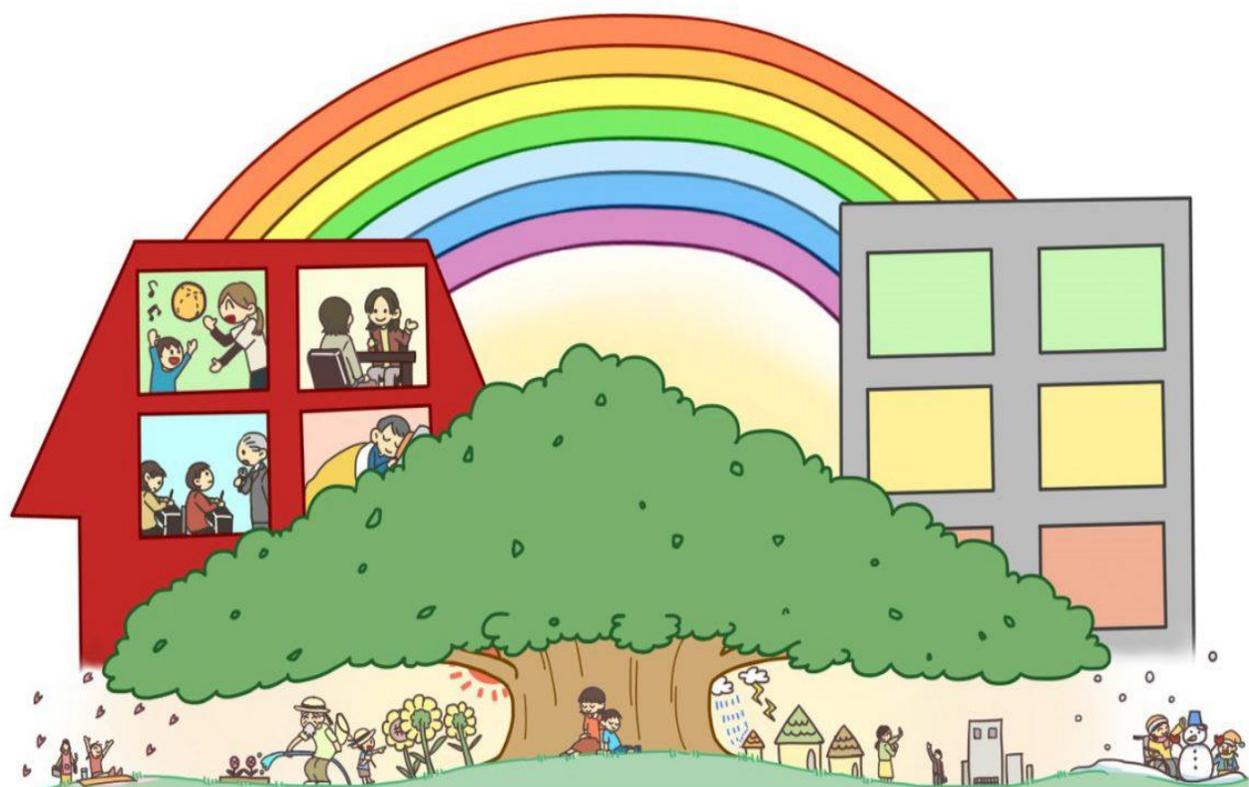


にやりほっと



# 令和4年度分

にやりほっと推進委員会



今回掲載している「にやりほっと」は、個人情報保護等の観点から一部を抜粋しています。そのため、事業所ごとに偏りがあるように見えますが、実際は各事業所で日々多くの「にやりほっと」があります。気になる事業所がありましたら、ぜひ直接職員にエピソードを聞いてみて下さい！！

『にやりほっと』なエピソードが続々登場します。少しでも温かい気持ちになっていただけたら幸いです。

にやりほっと推進委員会

児童関連事業所

## リトルペガサス

事業名：児童発達支援、保育所等訪問支援  
対象者：発達の気になる幼児（未就学児）  
定員：30名

児童発達支援センターとして地域の幼稚園や保育園と連携を取りながらお母さんとこどもの支援をしています。発達の遅れが心配なお子さんがお母さんお父さんと一緒に通い、小集団の中で制作あそびやからだを使った遊び、食事面や身の回りのことまで様々な経験をします。

園の巡回支援や外来相談なども行っています。



# リトルペガサス



## Aくん登室前のできごと

ある日の朝、Aくんが「今日はリトル？」とお母さんに確認したそうです。「リトルだと分かると、体操でやっている『ツバメ』のダンスを踊ってご機嫌でした！」とお母さんが連絡帳で教えてくれました！



## 内科検診(イレギュラー)の日に

普段はドキドキすると動きが大きくなったり、言葉で大人をやりこめて自分の気持ちを押し通そうとしたりするBくん。お母さんと内科検診に来てリトルに入る前は「服脱がなくていいよね」と言っていました。X職員の促しでスムーズに入室し、検診を受けることができました。

また、初めての電車での往復でしたが、落ち着いて電車に乗って帰ることができたそうです。翌日、お母さんから「我が子の成長を感じて久しぶりに“可愛い！”と思えた日でした！」と嬉しい電話をいただきました。♪



## QUOカードで買えるかな？

リトルで販売している作業所の商品がどうしても欲しかったCくん。「お母さん！これ買って下さい！」と帰りにプチ揉めに。職員Yが「お母さんのお金じゃなくてお手伝いしてお金貯めておいで。それまで予約しておくよ！」と話すと落ち着き、その日は帰宅しました。（で、お母さんからお手伝いの報酬としてQUOカードを貰いました）

後日、「先生！QUOカードで払えますか？」とCくん。「QUOカードは機械が無いので使えません」と答えると、「そうですかー」と言いながらQUOカードを自分の財布にしまい、現金払いで無事購入！嬉しそうにお母さんに報告していました。作業所商品販売所のおかげで貴重な経験ができました。



児童関連事業所

## ジュニアペガサス

事業名：放課後等デイサービス

対象者：小学生

定員：10名

リトルペガサスを卒業した方など小学生の活動の場として2016年に開所しました。

リトルペガサスで育った心と体のさらなる健やかな成長などをコンセプトとして、遊びを通じてコミュニケーションスキルを高め社会性をのばすことを目指して活動をしています。



# ジュニアペガサス

## 褒められてやる気UP↑↑

遊びの時間が終わり子どもたちにおもちゃの片付けを促すと、Aくんがすぐにお片付けを始められます。「偉いね～」と褒めると、俄然やる気が出たようでさらにテキパキ片付けてくれました。自分が使ったおもちゃを片付け終わると、大人が片付けていたトランポリンの下に敷いてあったマットを集めだして片付けを手伝ってくれました。大人に褒められたことが嬉しく一生懸命お手伝いしてくれるAくんにはほっこりさせられました。



## 一緒にいて楽しい！

小学1年生のDくんと小学2年生のEちゃんは気が合うらしく、一日中一緒に楽しそうに過ごしていました。2人で職員の方に近づいてきて「ぼくたち結婚するの！」とニコニコで教えてくれました！



## 優しさ

X職員がFちゃんに「折り紙でセレビィ（ポケモン）折って！」と頼まれ折り方を見ながら折っていると、折るだけではなく顔をペンで描き込むようにとの注文がきました。見本を見ながら描いていましたが、少し間違えてしまい「ちょっと間違えちゃったけどこのままでもいい？」と聞くと、普段なら「やだ！もう一回折って！」と言っているFちゃんですが、「うん、いいよ！そんな時もあるよね！」と励ましてくれました！



# ジュニアペガサス

## 大事にしてくれていた

以前小学3年生のKくんに、自分で描いた絵をあげていた小学6年生のFくん。ある日Kくんが、「大事にしてるんだよ」とその絵をファイルに入れてジュニアに持ってきました。それを見てFくんがうれしそうに「大事にしてるんだね」とつぶやいていました！



## 目指す人

車の中でCくんが、「僕Eちゃん（1学年上の、ジュニアで仲の良い女の子）みたいに優しいお兄さんになりたい！」と教えてくれました。



## 仲直り

RくんとQくんで昼食前にケンカ勃発！「もう遊ばない！」と書いていましたが、昼食後に自分たちで仲直りして、X職員に「やっぱり仲直りしたよ！」と教えてくれました。



## 児童関連事業所

### 自閉症サポートセンター ペガサス

事業名：放課後等デイサービス

対象者：小学生～高校生

定員：10名

2002年に開所した全国で最も歴史のあるこどもの放課後支援事業所の一つです。

ペガサスは、こどもたちの笑顔とご家族を支えることをコンセプトとして、遊びを通じて一人ひとりのこどもが社会に適応していくための能力や知恵を身につける場を提供するとともに、ご家族のレスパイトにも応えています。



## ジェネレーションギャップ

車内で音楽を聴いていた時のこと。Sくんから「さくらんぼ！！ききたいです！」とリクエストがあったので曲を変更し、「あ～大塚愛のさくらんぼか～なつかしい～」なんて思っていると、もう1人の子が「ああ！にゃんこスターね！」と。ジェネレーションギャップに大笑い！



## うれしい♡がつまった男の料理！！

上手に気持ちを言葉にできない・・・そんなお友達が多いペガサス。そんな中でAくんがおうちでママとの会話の中で「今日、Xさん（職員）とYさん（職員）と料理する！！」と言っていました！と連絡帳にて報告が！！

名前を呼んでくれ、そして一緒にお料理にチャレンジしたい！とペガサスに来てしたいことを伝えてくれるなんて（涙）これ以上の嬉しさはない！！こう思ってくれている子がいるからこそ前準備をしながらニヤニヤ♡ワクワク♪「これも準備しておこう！」「これをしたらAくんどんな反応かな？」とたくさん工程、パターンを考え準備も楽しめる♡

そして当日・・・。お昼はからあげ！にんにくチューブをたっぷりしぼってスタミナたっぷりのからあげのできあがり～！！夏を乗り切れ！「THE！男の料理！」



## 若者Bくんとのマジな会話

自分の好きな歌や、日曜日にお出かけした場所をうれしそうにお話してくれるBくん。先日も帰りの送迎車の中で日曜日に行ったゲームセンターのメダルゲームの話をしてくれました。

「Xさん（職員）！Bくん、メダル千枚出ました！マジで！」  
「お父さんは2千枚出ました！マジで！」とやたらと「マジで！」を強調するBくん。「おお～！すごいねマジで！」とこちらもついつい「マジで！」に力を入れて返事をしてしまいました♪  
ペガサスではなかなか上手に言葉にできない子も多いので「マジで！」がでてきたのにビックリ！！



## いつも以上においしく感じる～！！

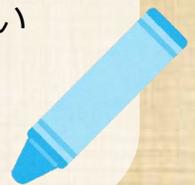
毎日昼食作りがある夏休み……。第3こだまからお野菜を買っているのですが配達に来てくれる職員さんも日に焼けてまっくろ……。

高校3年生のCくんも6月後半に第3こだまに実習に入った際、畑作業を体験したとのこと。見学に行かせてもらった時も汗をかきながらとっても楽しそうな様子で畑作業を頑張っていました！いつも美味しくいただいている野菜の背景には暑い中、汗をたくさんかきながら頑張ってくれている人がいることに改めて感謝をしていただいています♪



## 言葉でほっこり

お外で遊ぶことが大好きなDちゃん。その日は「おくつ！」と外で大人と一緒に土いじりを楽しんでいました。「そろそろ帰ろうかな～。中に戻ろうかな～」とX職員がつぶやくと、Dちゃんは「まだ入らないの。あそびたいの。」と自分の気持ちを伝えました。いつもDちゃんは言葉で伝えることはなく、泣いてばかりだったので、自分の気持ちを言葉で伝えるDちゃんにほっこり♡成長を感じました。



## どんな姿でもかわいい！

学校が終わりペガサスに帰ってきたEくん。いつもは2階で制服からジャージに着替えるのに、その日はなぜか玄関で着替えパンツ一丁に！そのまま2階に駆け上がってきたので「なんて格好してるの～！？」と聞くと、「かわいいでしょ？」と返ってきました。「かわいい！パンツ一丁でもEくんはかわいいよ～！」と言ってしまいました♪



## Fくんの方が大人ね・・・

昼食に"にゅうめん"を出した時のこと。子ども達は麺類が大好きでおかわりも沢山リクエストしてくれました♪高校3年生のFくんが「ごはん、おかわりください!」と言ってくれたので「今準備するからチュルチュル食べて待ってて～」とつい言ってしまい・・・。自分でも"高校生にチュルチュルなんて・・・ちょっと恥ずかしいな～"とっていました。ご飯をFくんを持って行った時に「チュルチュルまだあるよ～」と開き直つて言うと、「そうめんです!」と言い直して伝えてくれたFくんの大人な対応に大笑い!



## みんなでGくんを見守りま～す♪

帰りの送迎時間が近づくと玄関でリュックを背負ってスタンバイするGくん。高校3年生ともあって体も声も大きい!早く車に乗りたくて大きな声で「〇分になりました～!」と伝えてくれます。いつも玄関にいるので直接ペガサスにお迎えに来てくれるお母さん達も「Gくん、こんにちは!」と挨拶をしてくれるようになりました。ある日Hちゃんママが玄関を開けたタイミングで、そ～っと車に乗ろうと一歩足を出そうとしたGくん。「Gくん!まだ車に乗る時間じゃないでしょ!」とHちゃんママがまるで自分の子どもに声をかけるようにビシッ!と言ってくれました。するとGくんは「ハイ・・・」と言ってドアを閉め、また玄関へ。職員だけじゃなく、お友達のお母さんにも見守られ・・・幸せ者だな～♪



児童関連事業所

## 第2ペガサス

事業名：放課後等デイサービス  
対象者：小学生～高校生  
定員：10名

ペガサスの姉妹事業所として、異年齢のこどもたちが職員と一緒に多様な遊びや活動を通じて楽しさ、不思議さ、面白さを経験すること、基本的な生活習慣や社会のルールなど生活上のルールを身につけること、人や遊具、自然と関わりながら社会性や、感受性、基本的な運動能力を身につけることを目指して取り組んでいます。



# 第2ペガサス

## 水遊び大好き

夏休み中、雨の為、水遊びが出来なかった。しかし、「流し〇〇」の活動(コロナ禍の為、流しそうめんに変わる活動)として、玄関に流しそうめんキットを使ったゼリー流しを準備する。Aくんに声を掛けると、水遊びに誘われたと勘違いし、裸足で玄関にやってきた。職員に「ゼリーキャッチだよ」と伝えられ、靴を履くように促されるも、今度は靴下だけ履いて登場。職員と一緒に靴を履いて出直すが、水を見ると嬉しくなってしまう、水が入った桶に腕を深く沈み込ませてにやっと笑っていた。



## 気付いてほしい、ホントの気持ち

Bくんはペーパークラフトにチャレンジしたい様子。でも、恥ずかしくて職員に気持ちを伝えられず、自分でテープとはさみだけを持ってきました。職員に気付いてほしくて近くをうろろしながら「何か作ろうかな～」とちらちら顔を伺っていました。職員が「言わなきゃわからないよ?」と伝えると、「ペーパークラフトがやりたい!! パソコン貸してください!!」と元気よく伝えてくれました。



## 弟誕生!?

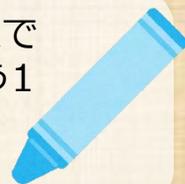
X職員が事業所で捕まえたトカゲを気に入ったCくん。トカゲなのに「バトルネコ」と名前を付けたり「なに食べるのかな～」と餌について調べてメモしてみたりと、トカゲのことで頭がいっぱい。飼育ケースの隙間から指を入れて頭をなで、「なでたら寝たよ! やっぱり僕の弟だ…」とつぶやいていました。



# 第2ペガサス

## 手作りプレゼント

登所し、ペーパークラフトに取り組むDくん。手際よく一人で作り上げており、1つ完成したあとも時間があつたため「もう1個作る？」と職員が聞くと、「次は明日作る！パパに〇〇を作ってあげる！」と嬉しそうに話していました。



## カービィに夢中

Eくんは、夏休み中に仲良くなった友達と“星のカービィ”の話題で盛り上がったようで、本人の中で静かなブーム。大好きなペーパークラフトも、毎日カービィのキャラクターを制作していました。職員が「Eくん、もしかしてカービィのゲーム欲しくなってきた？」と声を掛けると、「な、なぜわかった…」とドギマギ…。わかりやすい姿にほっこりしました。



加えて

## 大切な一声

帰りの時間になり、工作のために借りていたハサミとセロハンテープを職員に返すFくん。文具がしまっている書庫には鍵がかかっているため、いつもは職員に「これ、ありがとうございました、鍵開けてください」と言うことがほとんどだが、今日はその言葉に加えて「いつも貸してくれてありがとうございました！」とさらに感謝の気持ちを伝えてくれました。



## 大人の対応

Gくんはいつもプラレールを床に広げて遊んでいて、この日も部屋中に長いコースを作っていました。部屋の奥に用事のあつた職員がコースを跨いで通ろうとすると、足を引っかけて倒してしまいました。職員が「ハッ」と思い、Gくんの顔を見ると、口をぽかんと開け、凍り付いたかのように動きがとまっていたが、ふっと我に返り、怒らずに黙々と直し始めていました。Gくんごめんよ・・・



# 第2ペガサス

## かわいい言い間違い

子どもたちがアレクサ(電子機器)を使って「アレクサ、〇〇の曲かけて」と各々好きな音楽を聴いて遊んでいました。Aくんは、自分のお兄ちゃんの好きな曲をかけようとしていましたが、焦りすぎて「Tちゃん(兄の名前)、ブンバボンかけて」とアレクサに要求。いやいや・・・君のお兄ちゃんはアレクサじゃないぞー！と思って笑ってしまいました。



## おやつで芸術

おやつを食べながら、マーブルチョコで何やら一生懸命作っているBくん。「できた…！」と小声でつぶやいたのが聞こえたので職員が覗くと、お皿には赤・黄・緑の順にならんだチョコが。「しんごう！」とにっこりしてくれました。



## 友達と遊ぶのも楽しいね

Cくんは友達と遊ぶより、職員とくっついて遊んでいるのが大好き！でもそんなある日、他の友達が走っている姿を見て、急に追いかけて始めました。職員に「がんばれ！」と声を掛けられると、ニコニコした表情で楽し気に追いかけてっこをしていました。職員ではなく、友達と遊んでいる姿にほっこりしました。



# 第2ペガサス

## あ、あれ…？

土曜日の活動で荷物運びを手伝うDくん。職員に声を掛けられずとも、率先して友達の荷物入れのカゴを用意していました。しかし、なぜか自分の名前の書いたカゴだけが見つからず茫然、、、。でも、別の荷物にまぎれていたとわかると安堵の表情を見せていました。



## 大事な探し物

帰り際に自分のアイマスクが見つからず、必死になって探しているEくん。音楽を聴く時の大事なアイテムだったので、「ちょっとまって、まって」と大慌て。でも、職員がEくんの鞆を覗いてみると中からアイマスクを発見！！するとあんなに慌てていたEくんが急に冷静になって「帰りましょう！」と言った姿に笑ってしまいました。



## どこまで描けるか挑戦

おやつ後、Fくん「来年の干支はウサギだから、ウサギ描いてみようよ！」と誘うと、見本のイラストを見ながら挑戦！とってもノリノリで描いてくれたので、「Fくん、魚は描ける？」「車は？太陽は？」と色々なお題を出していたら、「たこ」、「イカ」で手が止まりました。難しいと思ったのか、描く前から「あ～無理やと思う～」と倒れこんでいました。



## 負けても楽しい

Gくんは夏休み中のプールで、自分より小さい子ばかりを相手に「はっけよ～い」と相撲を挑んでいました。友達に「X職員とやってみてよ！」と言われて職員と戦ってみると、二人一緒にプールにバシャ～ン。近くでカメラを構えていた友達に「ビデオ判定でGくんの負けだよ」と言われると「あ～」と言いながらもニッコリ満足そうでした。



# 第2ペガサス

## この日記はフィクションです

夏休み活動で絵日記を描いた日のこと。Aくんは絵日記に冷やし中華をおかわりしたことを書いていましたが、実際にはおかわりしていなかったそう…。なんで見栄を張ったのかな？（笑）

## ひざ・ひじどっち問題

帰り前、非接触型の体温計に何度も手のひらをかざして体温を測っていたBくん。職員が「Bくん、ひざは？ひざは何度かな？」と提案してみると、「ひじ」を一生懸命測っていて笑ってしまいました。

## 上品は形から

Cくんがおやつのだーナツをもらおうと、チョコソースをかけたいとのこと。あまり好きではないはずだがかけてみると、自らフォークを用意。それに合わせて職員が「ナイフも使ってみたら？」と手渡すと、器用にナイフとフォークを使い、おしゃれな食べ方をしていました。

## 完全な休息

Dくんの連絡帳に「〇月〇日は利用キャンセルします」と記載があり、本人に「なんでその日お休みするの〜？」と聞くと、「お家でゆっくりしようかな〜」と言っていました。帰り際にお母さんにキャンセルの理由を確認してみたところ、ゆっくりするためではなく私用でのお休みでした。本当にお家でゆっくりしているかも、、、？

## もっとちょうだい！

夏休みの出来事。室内で上手く遊ばず、ご機嫌ななめのEくん。職員が声をかけて水を使った遊びに誘ってみる。職員が蛇口をひねり、最初は少しだけ水を出して手だけ濡らして楽しんでいましたが、物足りなくなったEくんは、職員の真似をして蛇口を最大まで開けて大量の水が舞うと大喜びしていました。

# 第2ペガサス

## 気付いてしまった

夏休み中、自分より一足早く着替えを済ませてプールに入っている友達に気付いたAくん。窓に張り付いて(俺は…??)という熱い視線を送っていました。Aくんも「お着替えしたら入るよ」と職員に言われると大急ぎで着替えに向かっていました。



## 今日はやいたくなっちゃった

ボールペンづくりの日、友達が先に制作をしている様子を見い〜と横で見ていたBちゃん。すると、普段は工作にあまり興味を示さないBちゃんが自分から着席してやる気満々。自分でボールペン本体の色や中に入れる飾り(花)を選び、職員と一緒に完成させました。その後も、工作スペースの椅子が空いているタイミングで座りに来ては、何度も作ろうとしていました。よほど楽しかったかな？



## 短冊に願いを込めて…

七夕パーティーの日のこと。Cちゃんが短冊にペンでぐるぐると円を描いていたので、「何の願いかな〜」と職員が尋ねると、「チョコレート〜」と答えてくれました。大好きなチョコレートをたくさん食べたいのかな！



## すてきな誘い

X職員と遊んでいたDちゃんが何やら嬉しそうにY職員のもとへ。急に「一緒に踊ろっか〜！」と、突拍子もないことを言葉に、思わずみんなで大笑いしてしまいました。



# 第2ペガサス

## お手伝いはお母さんゆずり

おやつ後、Aくんにご飯を食べ終えたお皿をシンクに入れておくようお願いすると、みんなの使い終わったお皿がたくさんあることを発見。すると自分から水洗いを始めてくれました。職員が「お手伝い、お願いします！」と、洗剤で洗った泡だらけの食器を手渡してみると、丁寧に手でこすりながら泡を洗い流してくれました。全部流し終わると手をペーパータオルで拭きながら、シンクに残っている泡や水滴まで拭いてくれました。きっとお母さんがやっている様子を見たり、手伝ったりしているんだろうな・・・と感心してしまいました。



## いにも思いついちゃった～

Bくんは、手先を使った遊びが好きでよくペットボトルのラベルをはがしをやってくれます。その日もいつものように「ラベルをはがし終わったら別の袋に入れる」という流れを上手にこなしていました。でも、途中からラベルを剥がしたあとに床に放り投げるようになりました。「あれ、これ楽しいぞ」と思ったのか、しまいには、全てのボトルを床にばらまいていました。本人は「やったぜ」の表情で満足そうでした。



# 第2ペガサス

## お兄ちゃんがついてるよ！

同じ日に利用していたCくんの弟が、テラスでプラズマカーに乗って遊んでいたが、背中を押してくれる人がおらず、悲しんでいました。それを見たCくんは、ボンボンを持って「がんばれ、がんばれ」と応援に駆けつけ、カートを何度も押して一緒に遊んであげていました。



## ネタバレ厳禁

テラスのトランポリンに腰かけ、職員とゲームの話で盛り上がるDくん。スプラトゥーン3のストーリーモードを2日でクリアしたとのこと。「ラスボスはね…あ、これはネタバレになるから、耳をふさいでてもいいよ」と、まだゲームをやったことのない職員に気を遣ってくれました。ありがとう～



## ハルはいりけど…

友達が「先生（職員のこと）、ペーパークラフトやりたい！」と言うのを聞きつけ、Eくんも「僕も！ペーパークラフトやる！」と意気込んでパソコンの近くに行きました。職員が何を作りたいのか尋ねると、「…ペーパークラフトってなに？」とひとこと。わかってなかったのか（笑）



## 新築のはずが…

研修で来ていた職員とレゴでお家を作ることになったFくん。他の職員に「何作ったの～？」と聞かれると「ボロボロ！家！」と元気よく答えていたFくん。え？立派な家だよ！



# 第2ペガサス

## 思い出すとワクワク♪

学校の遠足で大洗の水族館に行ってきたAくん。「何の魚いたのー？」と職員が聞くと、「マイワシとー、エイとー、〇〇とー…」と見てきた魚をたくさん教えてくださいました。すごく楽しかったようで、身体をゆらゆらさせて興奮気味で話してくれた姿から楽しさがよく伝わりました。



## 反撃のしいとい

職員とBくんがしりとりしていた時のこと。職員に最後の文字を全部「す」で返されてしまうBくん。何を言っても「～～す」と、「す」で終わる言葉を返されるので、「ん～」と熟考した結果「ステゴサウルス！」とやり返しました。「すごい、賢い！」と他の職員も拍手していました。



## おいそうな宿題

職員がCくん「宿題終わった？」ときくと「サーモンの宿題は終わった！」とのこと。職員に「算数でしょ！」と言われ、「そう～」と返事をしていました。



## ポンコツラーメン

送迎中の車内でラーメン屋さんの前を通りかかったとき、職員が「このラーメン屋さんおいしいんだよ」とDくん伝えると「トンコツ？」と聞いてきました。しかし、「トンコツ」が「ポンコツ」に聞こえた職員が「え？ポンコツ？」と聞き返すと、Dくんが、「え？トンカツ？」と、どんどん話が逸れていき、笑ってしまいました。



# 第2ペガサス

## 一緒に走ろう！

テラスで気持ちよさそうにキックボードに乗るAくん。職員もキックボードに乗ってAくんの横を並走すると、スピードを合わせて近くまで寄ってきて、にこっと顔を覗き込んできました。かわいい～！



## 思ってたんとちがう

おやつはドーナツがお気に入りのBくん。この日は珍しくいつも選ばない“コーラボール”というグミゼリーを選んでいました。蓋を開け、一口食べてみると、眉をひそめる。蓋が硬くて上手に取れなかったのが、職員がお皿に出してあげると、Bくんは、ゼリーをつまみ上げ「ドーナツ??」と言いながら、ツンツンとつついて穴が空いていないことを不思議がっていました。茶色だけど、それはドーナツじゃないんだよ～（笑）



## 3倍長ネギマンのお料理教室

帰りの車の中で、Cくんが一人言で、「あんぱんまん」と口にしたので、職員が「あんぱんまん」とオウム返しをしてみると、「ニコニコ！」と言って嬉しそうにしていました。Cくんは、次に「ばいきんまん3倍長ネギマン」と言い、職員が冗談でお料理番組の真似をして「長ネギを洗って切ると～・・・目がいたーい」と言ってみると、Cくんは「目薬、ポツン！」と答えてくれました。次に「切ったねぎをあ～んと食べると・・・辛～い！！」と言うと「はい、お水、ごくごく、治ってよかったね～」と、返してくれました。不思議なやり取りを楽しんでくれました。



## 成人日中関連事業所

### WITH US多機能型事業所(生活介護)

事業名：生活介護

対象者：知的障がいのある方、18歳以上

定員：20名

青葉会の基盤的支援拠点WITH USの長男となる代表事業所として、どこで、誰とでも、同じように安定した力を存分に発揮できる姿を目指しています。利用される方一人ひとりを大切に、ストレングスの支援に重点を置き、一人ひとりの楽しみや生きがい、充実感を引き出すことをモットーに取り組んでいます。



# WU多機能

## あっぱれ、Aさん

Aさんは個別のエリアがあって、いつもそこで過ごしています。個別エリアから、少し強面の表情のAさんが移動していた時のことです。Y職員はなんと声をかけたらいいのか迷ってしまいました。その時反対側から、X職員が「Aさ〜ん♡どうしたの♪」と両手を広げ明るく声をかけながらAさんに駆け寄って行きました。するとAさんもその明るさにつられてにこっと、表情が変わりました。明るく接する大切さを感じました。

Aさんは個別のエリアでの活動が多いですが、最近はX職員と一緒にホールで輪投げをしたり縄跳びをしたり運動することもあります。ある日、Aさんから「運動する！」と発信があり、X職員が外へ出てポスティングでもよいか尋ねたところ、良いとの返事。二人でちいき新聞の配達に出かけました。配達から戻ってきた二人を玄関にいた職員みんなで拍手してねぎらいました。Aさんがチャレンジする姿、とても格好良かったです。



成人日中関連事業所

## 生活工房こだま

事業名：生活介護

対象者：知的障がいのある方、18歳以上

定員：20名

2004年に保護者が作られた作業所で、当時の親の想いを現在の職員も引き継いでいます。重度の方でも地域で楽しく生活するために、本人のニーズにあったきめ細かな対応をすることで、本人に応じた自立と社会参加や余暇を楽しめるように関わっています。またビジネスの発想での仕事や地域の方との交流もこころがけています。



# 生活工房こだま

## 冷たい ほっと！

今日はとても良い天気。利用者Aさん、Uさん、VさんとX職員の4人で元気よくポスティングに向かいました。しかし、風が非常に冷たく、手が悴んでしまい、配布するチラシをつかむのが難しい…。それを見ていたAさんが、私の手を握ってくれて、温かい（Hotな）こと！ 思わず、両手で握り返し、Aさんの顔を見つめました。とても頼もしかったです。



## 惜しい！

ある日のポスティング中。Oさんがチラシを投函しようとしていたポストのカバーをあらかじめ開けていたEさん。素晴らしい連携プレーなるか？と思いきや、Oさんが投函する直前にその場をスッと離れてしまったEさん。結局Oさん自らカバーを開けて投函。この絶妙なタイミングのズレに、好天寒風の中、一緒にいた職員は、ほっこり・ニコツとしました。



## ナイスフォロー！

送迎のバス内での出来事。添乗職員のX職員の横座席に座ったMさん。X職員がバスに揺られながら、携帯で連絡メールを発信する様子を見て、作業しやすい様にと、無言でさりげなくX職員の膝上の荷物を引き取ってくれました。思わず、「Mさん、ナイスフォロー！ 感謝、感激、雨、あられ」とお礼を言うと、後部座席に座っていたY職員とともに、大笑いのひと時となりました。



## 痛い いたい

X職員の髭剃り後の傷を見たPさんが、「痛い？」とのコメントで 赤面するX職員。また、Pさんの食事介助の際に、X職員の手先の指についたメニュー ナポリタンのケチャップを見て「痛い」との同じコメントで、にっこり。 ありがとう Pさん！！！！



成人日中関連事業所

## 第3こだま

事業名：就労継続支援B型

対象者：知的障がいのある方、18歳以上

定員：10名

第2こだまの従たる施設（分場）として利根川のほとりのとても広い畑で、季節の野菜を育て、直売所や法人内などで販売しています。季節を感じながら皆さんのびのびと農作業に取り組んでいます。

営農に取り組むモデル事業所として、工賃アップと収穫や販売を通じた交流を目指す大きな役割が期待されています。



# 第3こだま

## ゾウに乗ったら...?

利用者AさんとY職員とのある日の会話。

Aさん：「ゾウに乗ったらどうなりますかねえ？」

Y職員：「ゾウなんかに乗ったら危ないですよ。かなり高いところですよ」

Aさん：「僕は見ましたよお～。ヒトですよ。ヒト。」

Y職員：「サーカスじゃないかなあ？知ってるヒトですか？」

Aさん：「ターザンですよ。ターザン！あ～あ、あ～～～！」

Y職員：(大笑い)

\* この会話の面白さが分かる方は<昭和生まれ>の方でしょう！

## スマホ操作に長けている！

送迎車内での出来事。C職員が運転中に事業所携帯に着信がありました。助手席にいた利用者Bさんが着信画面を見て「Dさんからですよ、大丈夫ですか？」と。C職員が「運転中は会話できないんだよ。」と伝え、なんとスマホをC職員の顔に近づけて「ドーゾお話ください、スピーカーにしておきました、私この状態で持ってますから」と...「そんな設定知ってるの？」とC職員が問うと「E職員に教えてもらったから」と。現代っ子はホントにスマホ操作に長けていてビックリでした。



成人日中関連事業所

## あおば作業所

事業名：生活介護

対象者：知的障がいのある方、18歳以上

定員：20名

地域生活支援拠点にある生活介護事業所です。重度の方を受入れるとともに、あおば短期入所に緊急受入れした方の日中支援を受け入れることも役割の一つとなっています。利用されている方が生きがいや働きがいをもって通う場、ご家族の夢を実現していく場でありたいと考え、一人ひとりを大切にして取り組んでいます。



# あおば作業所

## 僕がいるよ！

毎朝作業所に届く大きなお弁当BOX。いつも運んでくれる利用者Aさんが今日はお休み。代わりに誰か別のの人に運んでもらおうと、職員が「誰か来てー！」と玄関から呼ぶと…「ウエ！ウエ！」と元気に利用者Bさんがホールから小走りで登場。背が低く、足元も不安定なため大きくて重い物を運ぶのは一番苦手そう＆イタズラ好きなBさん。呼んだ職員は「まさか君が来るとは！笑」と驚き。でもせっかく来てくれたので、Bさんにも手を添えてもらって、一緒に仲良くお弁当運び。ニコニコ笑顔で楽しそうなBさんでした♪



## そっちじゃない！笑

てんかん発作があり、いつも青い保護帽を被っている利用者Cさん。でもよく自分で外して、被らないままあちこち動くこともしばしば…。今日も大事な保護帽を置いたまま走り出したCさん。職員が「危ないよ！Cさん帽子被って！」と声をかけると、クルリと踵を返したCさん、被ったのは…大好きな青い水泳帽。「そっちじゃない！笑」とその場にいた職員全員でつつこみ、大笑い。



## 寒すぎて

10年に1度の寒波到来のニュース。そんな寒い日でも、仕事は仕事。作業所から少し離れたいつもの公園に何人かでお掃除に行きました。いつもは必ず車から降りて、皆の作業の様子を見て、監督してくれる利用者Dさん。今日も車から降りて見には来たものの…寒すぎ！！いつも薄着で上着も着ていなかったDさんはあまりの寒さに降りて5秒で車に逆戻り笑。その様子に職員たちは思わず笑ってしまいましたが、笑えないレベルの寒さに他の皆も5分で退却。車に戻ってほっと一息。やっぱり今日は寒すぎたね…。



## 成人日中関連事業所

# Pono

事業名：生活介護

対象者：知的障がいのある方、18歳以上

定員：20名

青葉会で最も新しい生活介護事業所です。“pono”はハワイ語でまっすぐな、正直なという意味と、健康、精神、人間関係などがバランスがとれ人が本来あるべき状態のことを表すそうです。Ponoの想い「あたたかく、やわらかいヒノキやスギの木に囲まれながら、心や体のバランスを整え、利用される方にとって居心地のよい空間になりますように」



# Pono

## ごはんできたよ～

Ponoでは、いつも調理担当の方が作り終わるとみんなに「ごはんだよ～！！」と伝えてくれます。  
担当だったSさんは自分で焼いた餃子が楽しみで、職員が「完成しましたよ～」と伝える前に「できたよー！！」とみんなに伝えに言っていました。  
楽しみにニコニコの表情にほっこりです！！



## ハロウィンパーティー

Ponoでハロウィンパーティーを開催！  
お面とマントをはおってみんなで賑やかにわいわい  
楽しいひとときでした！



## いつも帽子を上手に編んでくれるBさん！

作業所の商品のニット帽、10個も注文が入ると「そんなに入ったの！～」とBさんはとても嬉しそうな表情でした。  
仕事が忙しいことを喜べる純粹さにほっこりでした(^▽^)  
Bさん、いつも頑張ってくれてありがとう！



# Pono

## さいげない優しさ

いつも元気いっぱいCさんは細かいところによく気付いてくれます。ある日、職員の洋服についている糸くずに気付いてサッと払いのけてくれました。言葉数は少ないですが、そのスマートな動作！素敵です。



## 優しいお姉さん

利用者DさんとEさんの関係はまるで姉妹のようです。Eさんを妹のようにかわいがるDさん。Eさんが「疲れちゃったの～」というとき「どうした？大丈夫」と間髪入れずにDさんが走りよる姿がなんだかほほえましかったです！



## 譲り合い

Fさんからスマートフォンを貸してほしいDさん。職員に訴えかけてきましたが、本人に直接お願いしてみたら？と伝えると「貸して！」としっかり伝えていました。それに対してFさんも「えー！」といいながらも順番で貸してあげている姿にほっこりしました。



成人日中関連事業所

## トライアングル

事業名：地域活動支援センター

対象者：18歳以上

定員：16名

平日は作業所から帰ってきた利用者  
とハウス内でゆっくりと過ごしたり季節  
の行事活動を行っています。土日は青  
葉会のグループホームを利用される方  
を中心に余暇活動を行っています。  
“笑顔あふれる楽しい場”、“チャレンジ  
できる場”、“思い出を作れる場所”を  
目指して充実した余暇支援を心掛けて  
います。



# トライアングル

## たまごを見つけて…

イースターのたまご探して、なかなかたまごを見つけられなかった利用者Aさん。たまごを見つけた際には、満面の笑みを浮かべて職員に教えてくれました。

## 仲良し

最初はトランポリンをかわりばんこで遊んでいた利用者BさんとCさん、最後は二人で仲良く一緒に遊んでいました。

## 優しいIDさん

他の利用者さんが出しっぱなしにしていた本を、利用者Dさんが何も言わずに片付けて下さいました。

## かわりばんこ

トランポリンで遊びたがっていた利用者のEさんとFさん、どちらかが独り占めにならないよう職員が声をかけると、交代しあってトランポリンを遊ぶことが出来ました。

## 大人だから！

食後の洗い物を進んでやって下さった利用者Gさん。職員が「自分の分だけで大丈夫ですよ」とお伝えしても「大人だから！（大丈夫）」と、洗い物を全部洗ってくれました。

## かき氷

かき氷づくりの活動にて 利用者Hさんと仲の良い利用者Iさんは、「Hさんの分のかき氷は僕が作る！」と大張り切り。自分の分よりも先にHさんのかき氷を作ってくれました。そんなIさんのかき氷はというと、HさんとIさんと協力して作っています。

## 成人生活支援事業所



### あおば短期入所

事業名：短期入所

対象者：知的・発達・精神障がい（小学生以上）

定員：10名

WITH US短期入所とともにお泊りを希望される方の様々なニーズに応えられるよう取り組んでいます。あおば短期入所は、地域生活支援拠点にある短期入所として、WITH USの短期入所以上に、シャルや行政等を介した様々な緊急対応に応じて、青葉会内外の日中事業所とも連携を図りながら緊急の受入れに対応してきています。

### WITH US短期入所

事業名：短期入所

対象者：知的・発達・精神障がい（小学生以上）

定員：11名

あおば短期入所とともに、将来のために宿泊体験をしてみたい、安心して泊まれる場所の確保や緊急時に備えておきたいといった方から、ご家族の入院時などの緊急入所の利用までさまざまな目的を持った幅広い年代の方が利用されています。法人内の他事業所に貸し出してのお泊りイベントも行われています。

# 短期入所

## お笑い芸人じゃない！

AさんとY職員は、利用中一緒にものまねをしたりギャグを考えたりしていました。そんなAさんがグループホームに入居することになり、最後の利用日にY職員へ「今までお世話になりました」と丁寧にお礼を言ってくれました。

Y職員が感激していると、Aさんから「頑張って立派なお笑い芸人になって下さい」と言われました。

思わず「私、支援員だよ！」と笑いながらツッコみを入れてしまいました。



## 感謝の言葉

Aさんのお母さんが荷物を届けに来所した際、Y職員に「Yさんですか？」名前を聞いてこられました。Y職員が「そうです！」と答えると、「うちの子供やそのお友達がYさんの事大好きなんだって言ってて、よくお話聞かせてくれるんですよ。いつもありがとうございます」と言ってくれました。

保護者の方からそんなことを言われるのは初めてだったので、とても嬉しかったです。



## ダンスの練習

Bさんがダンスを踊っていると、Cさんがやってきて「私も踊りたい！」と言いました。

すると、Bさんが「いいよ」と言って、Cさんにダンスを教えながら一緒に踊っていました。その姿にとっても癒されました。



成人生活支援事業所

## WITH USグループホーム

事業名：共同生活援助

対象者：18歳以上

定員：30名

5棟あるグループホームのうち1棟を定住型、残りの4棟を一人でも多くの希望者が利用できるよう、地域での生活を目指す5年間の有期限の通過・体験型の施設として位置づけています。

5棟からなるグループホームがコミュニティロードを挟んで街を作っており、“毎日楽しく”をモットーに自閉症や知的障がいのある方が生活しています。



## 開けてあげたよ！

夕食時にAさんがBさんのヨーグルトの蓋を開けている場面のこと。

Aさんは嬉しそうに「開けてあげたよ！」と職員にドヤ顔で言っていました。その後もBさんが困っている時に助けていることが度々あり、感激しました。



## ちよい盛で！

朝食の準備をしている時に、Cさんが様子を見に来ました。その日は鶏肉と大根の煮物だったのですが、野菜に対し苦手意識のある方だった為、「Cさんのだけお肉多くしょうか？」と聞くと「少なめでいいよ～」と答え「本当にいいの？」と聞き返すと少し考えた後に、にやけて「ちよい盛で」と言っていました。Cさんの我慢できない表情に思わずニヤツとしてしまいました。



## 水滴が気になっている

Dさんはコップ等を置いた後のテーブルの水滴が気になっていたようで、手で拭く動作をしていました。台布巾を渡すとテーブルを拭いてくれました！ありがとう、Dさん！



## お手伝いするDさん

コロナで作業所がお休みに…。Eさんはホームで一日過ごしていて、職員はキッチンで夕食のカレーを作っていました。Eさんが興味ありげにキッチンの中を見ていたので、「お手伝いする？」と聞くと、「はい！」とカレーを混ぜるのを手伝ってくれました。



## かっぱ寿司

ある日の夜に、テレビを見ていたFさん。たまたまかっぱ寿司のニュースが流れていた為、職員が「今、かっぱ寿司大変なことになってるね」と話すと、深刻そうな顔をしてニュースを見始めました。時事ニュースについて真剣に考えられるFさん、素晴らしいです。



# WUグループホーム男性棟

## えらいねー！

職員がGさんの夕食の用意をしていると「えらいねー」といつも頭をなでてくれます。いつもねぎらいの言葉をかけてくれるFさんでした。



## カメラ目線のGさん

グループホーム通信に掲載する写真を撮っている時の出来事です。Hさんの写真を撮る為にカメラを向けると、Hさんはカメラ目線でピースサインをしてくれました。どのような場面で写真を撮っても、ピースをしてくれるHさんがとても可愛かったです。Hさんの写った素晴らしいグループホーム通信が出来上がりました。



## 帰国子女じゃない？

Iさんのご家族の方が、Iさんの幼少期のアルバムを持ってきてくれました。Iさんと一緒にそのアルバムを見ていると、自分の写っている写真を指差して教えてくれました。よく見ると、Iさんは海外で生まれているという衝撃の事実が発覚！しかも、その後の何年間かはそのまま海外で暮らしていたので、思わずIさんに「帰国子女じゃない？」と尋ねてしまいました。Iさんの意外な事実が分かった出来事でした。



## リュックの紐直していこうね

普段、靴や椅子の並び等を直してくれているAさん。出勤前のJさんのリュックの紐が捻じれていて、それを直していました。

Jさんの普段の行いもさることながら、思いやりや気づきがとても素晴らしく自分も見習わなければと思いました。



## 名前を呼んでくれた

職員が3人おり「誰とお風呂に入りたい??」とAさんに聞くと、手をとり職員の名前を呼んでくれることができました。普段は職員のことを呼んでくれる方ではないので、覚えてくれたんだ…!!ととても嬉しくなりました。



## 私がんばります

Bさんが、「職員が頑張っているから私も頑張らなきゃ!」と職員を見て自分も頑張ろうと思ってくれたことに感動しました。時には職員を心配する場面もあり、優しく肩を叩き「ちょっと頑張りすぎ!倒れたら困る」と言ってくれました。職員のことを見ているんだな、と改めて頑張ろうと思いました。



## かわいい勘違い

以前は野菜が大の苦手でしたが最近ホームで食べられるようになってきたCさん。ある日の夕食のスナップエンドウを枝豆と勘違いしたのか、中身を頑張って取り出し食べている姿を見て癒された職員でした!



## ちゅ〜

いつも職員の退勤時にハグをしてくださるDさん。いつもより少しハグの時間が長いと思っていると急に眼を見て「ちゅ〜」と仰ってください、びっくりして思わず笑ってしまいました。



成人生活支援事業所

## ぴーすふる

事業名：共同生活援助

対象者：18歳以上

定員：10名

青葉会で2つ目の定住型グループホームです。

「ぴーすふる」という名称には、障がいがあってもなくても、平凡で穏やかな生活が送れるようにという願いが込められています。日中活動と睡眠以外にも、余暇活動など、その人にあったシティ・ライフを本人やご家族、関連事業所とご相談し、地域で提供しています。



# ピーすゐる

## 忘年会！

最近、職員よる食事の声掛けではリビングに移動できなくなっていたAさん。忘年会でデザート作りに誘ってみると久しぶりにリビングに来てくれて、ホームのみんななどにぎやかな雰囲気の中、楽しむことができました。

かわいい写真も撮ることができて職員もうれしくなりました。



## 優しいお姉さん

Bさんといつものように会話を楽しんでいると、突然「よしよし」と言いながらX職員の頭をなでてくれました。もしかして疲れなどが伝わってしまったのかな？と少し不安になりましたが、お姉さんのような優しさに心がほっとしました。



## 宝物を使って

お買い物でCさんとY職員が一緒におでかけをしている時のことです。フードコートでランチを食べていると、隣の席の赤ちゃんが泣きだしてしまいました。すると、Cさんがかばんからお気に入りのネコのぬいぐるみを取り出して泣いている赤ちゃんに腕を伸ばして見せてあげていました。普段はクールなCさんの優しさにほっこりしました。



# ぴーすふる

## 気遣いの言葉

2階のDさんの入浴介助を終え、職員が1階へ戻ろうとすると「お仕事頑張って！！」と元気に伝えてくれました。作業所でお仕事帰りのDさんが職員を気遣ってかけてくれた言葉がとても嬉しく、それから何度か言ってくれる日があり、そんな日は「頑張ろう」と嬉しい気持ちになりながら1階に戻っています。

## あったかい抹茶ラテ

普段はおしゃべりをあまりしないEさんの事です。近くのコンビニでお買い物中に、自動販売機であったかい抹茶ラテを購入しました。ホームに帰っている途中、唐突にZ職員に「あったかい抹茶ラテ飲みたかった」とボソッと言いました。Z職員はEさんから話しかけてくれて嬉しく思い、「寒いもんね！」という、「寒いよね・・・」と返してくれました。外は寒かったですが、心はとっても温かくなりました。



# 成人生活支援事業所

## ふらーと

事業名：共同生活援助  
対象者：18歳以上  
定員：10名

青葉会で3つ目の定住型グループホームです。2021年5月に開所しました。「ふらーと」とは、国際共通語の 에스ぺ란토語から引用し、仲間の意味です。スペルは、“frato”。エスぺ란토語から引用した理由はバリアフリー感です。終の棲家で仲間と楽しく過ごしてほしいとの想いを込めました。



# ふらーと

## 育休中に…

X職員が育休中のこと、Aさんが「X職員は異動したのか、やめてしまったのか」と心配した様子を見せていました。

育休明けのX職員が、久しぶりにAさんと顔を合わせると、Aさんは安心した様子で満面の笑顔を見せてくれました。



## お父さんへのプレゼント！

週末にお父さんが迎えに来るのを待っていたBさん。その日は、お父さんの誕生日が近かったため、Bさんは「お父さん、これプレゼント」と最初は洋菓子を渡したのですが、「やっぱり俺が食べたいから、こっちな」とご自分が持っていたお煎餅と交換していました。Bさんが、お父さんへの優しさを持っていることと自分の思いを表現できることを知り、その場でお父さんと一緒ににやりとしました。



## 地域との交流

職員にいつも元気な挨拶をしてくれるCさん。その日はヘルパーさんのお出かけがありましたが、疲労からか挨拶に元気がなく、出発時は静かな様子でした。しかし、お出かけから帰ってくるとCさんは笑顔で車いすから降りて元気な様子を見せていました。

何があったのかヘルパーさんに尋ねてみると「Cさんがお散歩中に近所の方に挨拶をしたところ、庭になっている大きな柑橘類の果物を頂いたんですよ」とお話があり、積極的に地域の人と交流したCさんににやりとしました。



# ふらーと

## 集中力

お母さんからの差し入れでジグソーパズルをいただいたDさん。職員はDさんがジグソーパズルを行なうところを見たことはなかったのですが、夕方ごろにパズルをお渡しすると黙々と集中して行ない、2時間程で完成させていました。



## ラグビー観戦

ご本人の希望でラグビー観戦に行ったEさん。周りのサポーターの応援に合わせて、身振り手振りでチームを応援！ 応援していたチームは負けてしまいましたが、ホームにて楽しかったと笑顔で話してくれました。



成人生活支援事業所

## あおぼグループホーム

事業名：共同生活援助

対象者：18歳以上

定員：10名

2017年に開所した青葉会で最初の定住型グループホームです。

高田町会の催しに参加したり、大堀川の散歩に出かけたり、近くのコンビニに買い物に行ったり、地域の方との新しい出会いや交流、新しい生活の中での発見や経験など、一人ひとりのライフステージに合わせた生活をともに考え、支えています。



# あおばグループホーム

## 誕生日プレゼント

Aさんの誕生日に、同じホームの仲間のBさんが外出支援で出かけました。外出支援の職員とBさんが選んだ誕生日プレゼントをもらったAさんは、照れながらお礼を伝えてとても良い笑顔を見せていました。お礼を言われたBさんも「へへっ」と笑っていました。



## 飴あげる

職員が職員室で業務をしているとCさんが近くにきました。何かを言いたそうなので聞いてみると「これあげる！」と言って飴をくれました。普段から甘いものが好きだと言っているのを聞いていたのかなと嬉しい気持ちになりました。



## 職員の髪型

職員が美容院で髪型を変えて支援に入って数日後のこと。髪型について利用者さんに何か言われるかなとワクワクしていた時にDさんが髪を見ながら近づいてきました！

ついにこの時が来たと思っていると髪の毛の匂いを嗅いで「くさーい！」と言って笑っていました。薬品の匂いがまだ少し残っていたので「確かに」と思わず一緒に笑ってしまいました。その後はEさんが「どこで切ったの？」と聞いてくれて髪型の話が出来て満たされました。



# あおばグループホーム

## Fさんが眠れなかった理由

20時30分頃、いつもなら寝ているはずのFさんが下に降りてきていました。「どうしたの？」と尋ねると「(隣のホームにいる)X職員におやすみなさいを言います」とのこと。X職員が来るまでは時間があつた為にリビングで待っていたFさんですが、待ちきれなくなったのか「隣に行きます」と言って隣のホームに行き、X職員に「さようなら」と言っていました。

睡眠時間を減らしてでもX職員にあいさつをしたいFさんの想いに、職員2人は笑顔になりました。

## 1日の終わりに

普段通りGさんが就寝しようとしていたので職員が「おやすみ」のあいさつをしに行くと、リビングでテレビを観ていたHさんもこっそり職員の後ろをついてきてGさんに「おやすみ」とあいさつをしていました。Gさんは少し恥ずかしそうにしながらもあいさつを返し、就寝しました。一緒に住んでいるからこそそのあいさつと、お互いに恥ずかしそうにあいさつしている姿に、つい笑ってしまいました。

## ありがとう

Iさんの入浴後に忘れ物がないか確認しているとタオルが1枚落ちていました。Iさんの部屋に持って行きIさんのものか尋ねると「そう、ありがとう」と目を見てお礼を言ってくれました。

相手にきちんと感謝を伝える事が出来る姿に心が温まりました。

# あおばグループホーム

## 気持ち良い空気

第2こだまの職員さんと利用者さんがホームのエアコン清掃に来てくれました。お忙しい中、初めて見るような道具を使って掃除をしている姿に感動しました！！気持ち良い空気をありがとうございます！！



## 気遣い

ある夜、職員が食器の洗い物をしていると、Jさんがテレビを消してまで洗い物をお手伝いしてくれ、感動でした。Jさん、ありがとう。



## 拭けばいいじゃん

眼鏡を掛けた職員が、汗をかきながら作業をしていると、Kさんが職員の眼鏡を突然取りました！

驚きながらもKさんを叱ろうとしたところ、Kさんが「(汗を)拭けばいいじゃん」と言って、ペーパータオルを何枚か差し出してくれました。その後、貰ったペーパータオルで職員が汗を拭いたのを確認すると、Kさんは満足そうに眼鏡を返してくれました。



# あおばグループホーム

## 伝えられる

職員との関わりやDVD、YouTubeの動画を観ることが好きなLさん。ある日職員の肩をトントンとしたので、どうしたのか聞いてみると玄関へ向かっていきました。すると靴を一足職員に手渡して「くつ」と靴紐を結んで欲しいことを伝えてくれました！

靴紐を結び終わると次は自室に案内され今度は「YouTube」と一言。配線の関係で観られなくなっていたようで、直すと照れて笑いながら「ありがとう」と言ってくれました。困りごとを伝えられるって大切だと思いました！夕食後の食器も「洗ってよー」と頼まれましたが、そちらは丁重にお断りしてご自身で洗ってもらいました（笑）

## 天然水！

職員が「喉乾いたー」と何気なくいった時のこと。それを自室で聞いていたMさんが居室からでてきて職員の鞆を探り始めました。ペットボトルを手に取り「X（職員）さん見てー」と言われたので視線を向けると続けて「天然水ー！！」と前に突き出して渡してくれました。天然水という漢字を読んだのか、パッケージから天然水と分かったのかまでは分かりませんがMさんから初めて聞いた“天然水”の言葉に驚きました！！

## 嬉しい明かり

職員室で作業をしていると日が落ちて徐々に薄暗くなってきました。すると職員室で作業をしている職員に気がついたNさんが、無言で職員室の電気をパチッと点けてくれました！眼にも心にも優しい明かりで仕事ができました。

# あおばグループホーム

## 寂しいから

人との関わりが好きなOさん。平日は仕事で早くにホームを出てしまうが、今日は土曜日です。職員がホームに来る7時ごろに降りてきて、朝食を食べ始めます。そんなOさんと同じ時間に朝食を食べるのがPさん。しかし、今日のPさんは自室で朝食を食べる日らしく、お盆に次々と朝食を載せています。

すると、Oさんがおもむろに「P君、一人で食べるの寂しいから、下と一緒に食べようよ」と提案しました。しかし、Pさんは無言でお盆に朝食を載せています。見かねた職員がPさんに声掛けをしようとしたとき、Pさんはお盆を持ってテーブルの定位置に着席しました。Oさんと一緒に朝食を食べ始めました。Pさんが朝食を食べ終わると、Oさんは「P君、ありがとうね」と満面の笑みでお礼を言いました。



